

箱を開けてから装置が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

安全に関するご注意
装置をセットアップする前に「ユーザーズガイド」の「安全にかかわる表示について」[使用上のご注意]—必ずお読みください—をお読みの上、注意事項を守って正しくセットアップしてください。

警告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 雷が降り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

注意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないでください。
- 電源コードは指定の電圧、コンセントに接続してください。
- 電源コードはタコ足配線にしないでください。

ステップ1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品がそろっていることを確認してください。

- 本体
- 電源コード(1本)
- フロントベゼル
- セキュリティキー*1
- Yケーブル*2
- 電源中継ケーブル*3
- IDEケーブル*3
- ラック搭載用取付部品*4
- ソフトウェアパッケージ一式*5
- SystemGlobe DianaScope Additional Server License (1)(DianaScopeのライセンス)
- お客様登録申込書
- 保証書*6
- スタートアップガイド(本書)

*1 フロントベゼルに貼り付けられています。
*2 キーボード/マウス接続用。
*3 バックアップデバイス用。
*4 詳細はユーザーズガイドを参照。
*5 添付のCD-ROMやDVD-ROMは、再セットアップの時に必要となりますので大切に保管しておいてください。
*6 梱包箱に貼り付けられています。
*7 ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER (SE) JCD-ROM」内に格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCへインストールしておいてください。

ステップ2 ラックに取り付ける

本体をラックに取り付けます。安全に正しく取り付けるために作業は複数名で行ってください。

参照 「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。

- ① 機構部品をラックに取り付けた後、本体をラックに差し込む。
- ② セットスクリューでラックに固定する。

セットスクリュー

ステップ3 ケーブルを接続する

ケーブルを本体背面にあるコネクタに接続します。

参照 「ユーザーズガイド」の第2章「セットアップ」を参照してください。

重要

- 本体に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、複数のケーブルを接続するときは、まずLANポート1のみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。残りのコネクタに接続するときは、LANポート番号の小さい順に接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。

LANケーブル LANケーブル

オプションの電源ユニット用スロット

最後にコンセントへ*

* オプションの電源ユニットを搭載している場合にのみ電源ユニットに添付の電源コードを接続します。

ステップ4 電源をONにする

電源をONにします。

- ① 本体のLANポート1コネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- ② POWERスイッチを押して、システムの電源をONにする。

電源ONの後、
ピーピー!
ビッビッビッ!

を[4回]繰り返して終わればOK!!

POWERランプが緑色に点灯する

システムの起動後、ビープ音のパターン(ビープ音を2回長く4回短く)を4回繰り返したら、正常に起動したことになります。

ステップ5 初期設定をする

管理ツールWebUIを使用できるようにするために、本装置の初期設定を行います。

重要 出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

本体内蔵のLANポート1に割り当てる情報として、「コンピュータ名」、「IPアドレス*」、「IPアドレス用のサブネットマスク*」を用意してください。

* IPアドレスとサブネットマスクは、設定およびWebUIに使用するWindowsマシンと同じネットワークになる値にしてください。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にあるWindowsマシン(Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003/Windows NT 4.0)と添付の「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM」を使用します。

参照 詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。
「EXPRESSBUILDER(SE) CD-ROM」の ¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

- ① 任意のWindowsマシンのCD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをセットする。
Autorun機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場合は、CD-ROMドライブ内の「¥MC¥1ST.EXE」を実行してください。

- ② [ソフトウェアのセットアップ]から[初期設定ツール]をクリックする。
初期設定ツールが起動し、エンドユーザーライセンス契約(EULA)の確認画面が表示されます(初回のみ)。

- ③ EULAを確認の上、同意する場合は[はい]をクリックする。
自動発見ウィンドウが表示されます。
- ④ [開始]をクリックする。
iStorage NSの一覧が表示されます。

- ⑤ WebUI起動の表示が「確認中」から「可」または「不可」に変わったら、本装置を選択し、[設定変更]をクリックする。
設定変更画面が表示されます。

重要 DHCPサーバが存在する場合、WebUI起動が「可」となり、「WebUI」を使って設定を変更することができます。コンピュータ名(WebUI上はサーバ名)などの設定はWebUIで[ネットワーク]→[識別]の順に選択して開いた「サーバID」で行います。このときに通常使用するブラウザの設定は、「Internet Explorer 6.0」以降にしておいてください。

- ⑥ [コンピュータ名]欄にコンピュータ名を入力する。
- ⑦ [IPアドレス]欄にIPアドレス、[サブネットマスク]欄にサブネットマスクを入力する。

重要

- ネットワーク上に同一のコンピュータ名を持つマシンが存在すると、設定変更後の再起動ができなくなります。コンピュータ名が重複していないことを確認してください。
- IPアドレスの設定に間違いがあると、設定変更後の再起動や、管理ツール「WebUI」からの接続ができない場合があります。IPアドレスに誤りがないことを確認してください。
- 設定するIPアドレス/サブネットマスクは、初期設定ツールを動作させているマシンと同一ネットワークになるように設定してください。

- ⑧ [適用]をクリックする。

- ⑨ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。
サーバ設定の変更が始まり、サーバ設定状況の内容が順次更新されます。
- ⑩ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

参照 初期設定ツールにおいて、設定変更ができないなど、問題が発生した場合は、初期設定ツールのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。

以上で、本装置の初期設定が完了し、WebUIでの管理ができる状態になりました。

引き続きシステムのセットアップをします。裏面をご覧ください。

表面からの続きです。

ステップ6

管理ツール「WebUI」を使って設定する

本装置と同じサブネット上にあるクライアントマシン(Windowsマシン)で必要事項を設定します。

ブラウザには「Internet Explorer 6.0」以降を使用し、エンコードを「自動選択」または「Unicode (UTF-8)」にしてください。

参照 設定方法の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

- ① クライアントマシン上でInternet Explorerを起動する。
- ② 「アドレス」に「https://hostname:8098/」と入力する。

「hostname」の部分は、本装置のコンピュータ名を入力します。コンピュータ名での名前解決ができない場合は、「hostname」の代わりにIPアドレスを指定してください。

- ③ [セキュリティの警告]が表示されたら、[はい]をクリックする。

- ④ ユーザー名に「Administrator」、パスワードに本装置に登録したパスワードを入力して[OK]をクリックする(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

「iStorage NSシリーズ WebUI」の画面が表示されます。

参照 もし、画面が表示されなかった場合は、ユーザーズガイドの第8章「故障かな?と思ったときは」の「障害時の対処」-「トラブルシューティング」を参照してください。



ステップ7

セキュリティのセットアップをする

本装置のセキュリティを保つために次のセットアップを必ず行ってください。

パスワードの変更

出荷時にパスワードが設定されています。(出荷時のパスワードについては、本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。WebUIで[開始]→[管理者パスワードの設定]の順に選択し、パスワードを設定してください。

重要 本装置をWORKGROUP環境にしてパスワードを変更してください。

フロントベゼルの取り付け

第三者による不正な装置の操作を防ぐためにロック機構付きのフロントベゼルが添付されています。ユーザーズガイドを参照して取り付けてください。

- ⑤ ユーザーズガイドや注意制限事項、および管理者ガイドを参照して必要事項を設定する。

重要 以下の設定を行ってください。

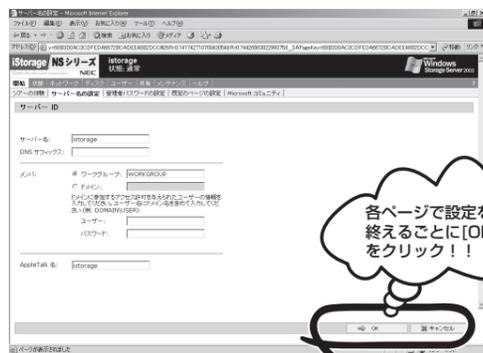
- 日付と時刻の設定
- 通知電子メールの設定
- サーバー名(コンピュータ名)の設定(初期設定ツールでコンピュータ名を設定済みの場合は不要)
- サーバーIDメンバ(WORKGROUP/ドメイン参加)の設定
- AppleTalk名
- シャドウ コピーの設定(本機能を使用する場合のみ)

- ⑥ 設定を変更したら、設定内容を反映させるために各ページごとに[OK]をクリックする。

以下の設定変更には再起動がともないます。注意してください。

- サーバー名(コンピュータ名)
- サーバーIDメンバの設定(WORKGROUP/ドメイン参加の設定)
- AFT(Adapter Fault Tolerance)の設定(本機能を使用する場合のみ)
- ALB(Adaptive Load Balancing)の設定(本機能を使用する場合のみ)

重要 サーバー名とAppleTalk名は合わせておくと便利です。



各ページで設定を終えるごとに[OK]をクリック!!

ステップ8

ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的にサーバの電源をOFFにしたり、サーバ監視用コンピュータやページャへの通報などを行うユーティリティです。

参照 設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

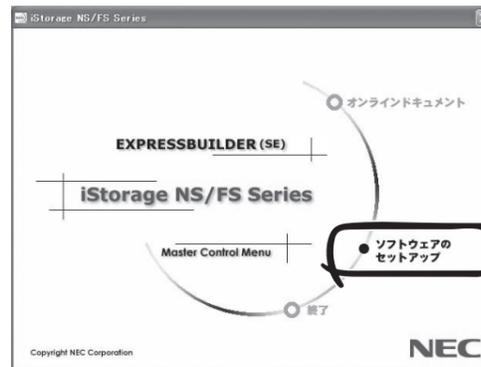
ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC(ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから下図のように確認することができます。



ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]-[ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。



iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、本製品の管理ツール(WebUI)が起動できます。EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアのセットアップ]-[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

重要 iStorage NS連携モジュールはシステムに「通常使用するブラウザ」として登録されているブラウザを起動するため、Internet Explorer 6.0以降のブラウザを事前に設定しておくことが必要です。

お読みください

OS再インストールの前に

OSの再インストールを行うと、ハードディスクドライブ上のデータはすべて削除されます。再インストールを始める前に、必要なデータをバックアップすることをお勧めします。

システムのパフォーマンスを活用するために

N8103-79 増設バッテリーを搭載している場合は、本装置のパフォーマンスを最大限に活用するために、ディスクアレイコントローラのライトキャッシュの設定を「Write back」にする必要があります。特にNFS機能を使用する場合にはこの設定は有効ですので、「Write back」に設定することをお勧めいたします。

ディスクアレイ構成を変更した場合

ディスクアレイ構成を変更した場合は、ユーザーズガイドを参照して、ディスクアレイコンフィグレーション情報のバックアップを行ってください。

電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれていません。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、WebUIのシャットダウンメニューを使ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER(SE)」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

管理者ガイド

<http://www.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html>

ユーザーズガイド

<http://www.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html>

iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しており、技術サポートを有償にてサポートいたします。本サービスをご契約いただく、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWWWサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのバージョンアップ/リビジョンアップ情報などもご提供いたします。

「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

<http://www.sw.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

NEC iStorageシリーズのホームページ

<http://www.express.nec.co.jp/products/nas/index.html>



商標について

ESMPRO、DianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2005
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
このマニュアルは再生紙を使用しています。